

## 平成 28 年度 第 1 回坂井市地域公共交通会議

開催日時：平成 28 年 6 月 17 日（金）午後 2 時 00 分から午後 3 時 00 分

場 所：坂井市役所 多目的研修センター3F 大ホール

出席者：浅沼会長、坂野委員、渡辺委員、阿津川委員、野村委員、阿古江委員、  
竹吉委員、岡田委員、猪嶋委員、中川委員、市川委員、小林憲委員、小林美委員、  
吉川委員、佐々木委員、安宅委員、岡永委員、矢部委員、小谷委員、鍋嶋委員、  
岡部委員

事務局：渡邊部長、上野課長、東山参事、奈須田主査

### 1. 開会

委員出席状況・会議成立を報告。

### 2. 委嘱状交付

委員委嘱状交付。

### 3. 副市長あいさつ

北川副市長あいさつ。

### 4. 会長選出

互選により浅沼会長選出。

### 5. 会長あいさつ

浅沼会長あいさつ。

### 6. 報告事項

#### (1) コミュニティバスの運行実績について

事務局からコミュニティバス運行実績を報告。

#### (2) えちぜん鉄道の運行実績について

佐々木委員からえちぜん鉄道の運行実績を報告。

## 【質疑】

(岡田委員)

コミュニティバスの実績の関係で、本格運行開始から基幹ルート・接続ルートともに利用者数が順調に推移している中、今年4月に入り高校生の利用が減少しているのではないかという報告でしたが、高校生の利用が減ったのか、その他の利用者が減ったのかということと、新入生を取り込むためのPR等を何かしていれば教えていただきたい。

(事務局)

今年4月の1日当たりの基幹ルート平均利用者数が昨年4月と比較し35.4人減少しておりますが、内容を見てみると、減少している部分というのは概ね第1便の利用者であり、第1便は利用者のほとんどが高校生となっております。特に三国坂井ルート第1便の利用者が昨年よりも減少していることが主な要因となっており、高校生の利用が減少したことが影響したと考えております。

また、高校生を取り込むためのPRや定期券発行といった取組みは現在行っておりません。

(浅沼会長)

資料の3ページを見ると、平成26年度から平成27年度にかけて三国坂井ルート左回りの利用者の減少傾向が見られ、月別でも減少していることがわかります。

もしかすると昨年度からこういった減少傾向が現れていたのかなという気もします。こういったことから、三国坂井ルート左回りの減少に利用者減少の要因があったのかと思います。

(事務局)

三国坂井ルート左回りについては、三国高校の生徒が利用していましたので、三国高校の生徒数が減少したことも影響しているのではと考えております。

三国坂井ルート右回りについては、三国方面から坂井方面へ来る方が多く利用されていますので、坂井高校の生徒数増が影響していると思われます。

ただし、今年4月については、両ルートともに利用者が減少しておりますので、左回りは三国高校の生徒数減少による影響が考えられますが、坂井高校の生徒数が増加しているなか右回りの利用者が減少したことについては原因がわかっておりません。単純にバスを利用される生徒が減少したのではと考えております。

(浅沼会長)

坂井高校の生徒数が増えている中で、利用者が減っているというのは、これからもう少し様子をみたいと思います。

(竹吉委員)

高校生の利用者が減ったのではないかという話でしたが、三国高校にありました家政科がなくなりまして坂井高校に編入されました。

ただ、三国高校の家政科の生徒が全て坂井高校に移動したかという点、そうでもないところがあります。

過年度との比較は難しいですが、現在坂井高校でコミュニティバスを利用している生徒は三国で41名、丸岡で5名、春江で3名というような状況です。

昨年よりは三国路線の生徒の利用者は確実に増えています。

(浅沼会長)

不明な点もありますので、高校の協力も得て今後分析ができればと思っております。

## 7. 協議事項

### (1) 路線バスの見直しについて

路線バスの見直しについて矢部委員から概要を説明。

#### 【要旨】

- ・平成28年10月1日から「東尋坊線」のルートを見直し、現在安島地区の内部を通過している部分の路線を廃止し、北側の市道を通過するよう変更する。
- ・平成28年10月1日から現在予約制で運行している「木部大石線」の車両を中型バスからジャンボタクシーに変更し運行する。
- ・「木部大石線」の車両変更に伴い、「木部大石線」⇔「二の宮春江線」間を福井駅まで直通運行（中型バス）していたものを、安沢停留所での乗換え（ジャンボタクシー⇔中型バス）に変更する。

#### 【協議・質疑】

(野村委員)

木部大石線の利用者数を見ると、1名の方が繰り返し乗られているようですが、ジャンボタクシーを運行するよりもタクシーを利用いただいた方が早く、費用もかからないのではないかと思います。理由があつてこのような運行なのでしょう。

(事務局)

自分のために中型バスを運行するというのは心苦しいという利用者からの声もいただいておりますが、利用者が今後その方だけとは限らず、また、昨年定期路線だったものを予約運行に切り替えているということもございますので、今後も路線を維持していくという意味でも車両を変更し様子を見たいと考えております。

(矢部委員)

現在の実績を鑑みて効率化のため車両変更を行いますが、事業者としましてはなるべく多くの方に利用していただきたいということもございますので、PR等改善をして多くの方に乗っていただけるようなサービスに努めていきたいと考えております。

(浅沼会長)

他にご意見がなければ、東尋坊線及び木部大石線の見直しについて承認をお願いします。

賛成の方の挙手をお願いします。

(委員)

挙手多数。

(浅沼会長)

ありがとうございます。それでは、路線バスの見直しについてご承認いただきました。

(2) コミュニティバス停留所の名称変更について

コミュニティバス停留所の名称変更について事務局から概要を説明。

#### 【要旨】

・5月30日から市の施設名変更に伴い、停留所の名称を変更する。

「総合支所」 ⇒ 「支所」

「公民館」 ⇒ 「コミュニティセンター」

#### 【協議・質疑】

(浅沼会長)

名称変更について、ご意見ご質問ございますか。

軽微な変更事項ということで、すでに名称変更されていますので事後承認をお願いします。

ご異議なければ挙手で承認をお願いします。

(委員)

挙手多数。

(浅沼会長)

ありがとうございました。

議題は以上ですが、委員の皆様からご意見ご質問はありますか。

今日の報告事項でコミュニティバスの運行実績の報告がありましたが、これまでは毎年利用者数が増えて順調に浸透してきましたが、そろそろ頭打ちでルートや時刻の変更だけではなく、なんらかの対策を取って行かないといけない時期に差し掛かっているのではないのでしょうか。

利用促進策について考えていかないといけない気がします。これからも委員の皆様  
の知恵をだしていただけるとありがたいと思います。

(岡田委員)

計画に基づき利便性の高い持続可能な公共交通を作っていきたいと副市長のあいさつにもありましたが、先ほど浅沼会長がおっしゃったように頭打ちになっていくという中で、こういう風にしていく、調査をかけていくといったような今後来年に向けて大きく改定していくというようなスケジュールがありましたら教えてください。

(事務局)

市の計画に基づいて、公共交通体系も変えていかなければなりません、今後坂井市総合計画や坂井市公共交通計画が見直されていくこととなりますので、委員の皆様にお示ししていければと思っております。

(岡田委員)

大きな総合計画に向かって公共交通会議で細かいところを協議していくということですね。

(事務局)

新幹線等高速交通体系が変わっていくことによって、二次交通としてのコミュニティバスも変えていく必要があると考えております。

## 8. その他

今後の坂井市地域公共交通会議開催予定について

## 9. 閉会